

科目分類	専門分野	学 年	1 年	担当教員の氏名・職名	
授 業 科 目 名	看護の基本技術Ⅱ (看護過程/記録・報告)	学 期	後期	三浦 陽子 (看護教員)	
		単 位 数	1		
		時 間 数	30		
目 的 (ねらい)	看護の基本技術として、看護活動を系統的・組織的に実践できるための枠組みとなる看護過程展開を学ぶ。また、看護実践のプロセスを系統的に記録・報告するための基本的知識・技術を学ぶ。				
目 標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 看護過程の構成要素と各段階の相互関係について理解する。</li> <li>2. 問題解決思考、クリティカルシンキング能力、リフレクション能力を理解し看護過程の展開に活かす。</li> <li>3. 看護記録の意義と方法を理解して記録ができる。</li> <li>4. 報告の意義と方法を理解する。</li> </ol>				
授業計画	回数	単元項目	内容	授業形態	
	1	(看護過程) 看護過程とは	看護の対象者について考える	講義	
	2~4	アセスメント	情報収集/情報の分析・整理	講義/演習	
	5		枠組み毎の分析	講義/演習	
	6~7		問題仮説の推論・統合 (関連図)	講義/演習	
	8	看護問題の特定	(査定)	講義/演習	
	9		問題点	講義/演習	
	10	計画	目標立案		
	11		具体策	講義/演習	
	12	実施 評価	実施 評価	講義/演習	
	13	臨床判断能力	臨床判断能力とは	講義/演習	
	14	(記録/報告) 看護記録	看護記録の目的・意義	講義	
	15	看護記録/報告	看護記録の実際 報告の意義と方法	講義 講義	
	教科書	新体系 看護学全書 基礎看護技術Ⅰ (メヂカルフレンド社)			
	参考文献	事例と関連する疾患に関するテキスト			
評価方法	成果物 40% 定期試験 60% 合計 100 点満点での結果を最終評価とする。				
関連科目	解剖生理学 病理学総論 病理学各論 看護学				
自己学習に関する指針	協同学習を行います。チームのためにも自分のためにも学習してのぞみましょう。				
その他の 通知事項	進行は理解の状況により変更することがあります。				

